

経営比較分析表（令和6年度決算）

和歌山県 日高町

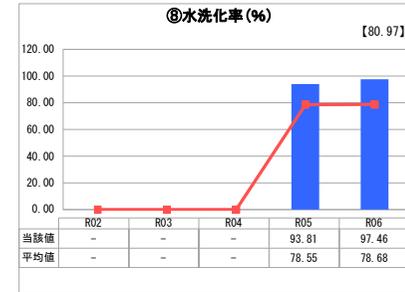
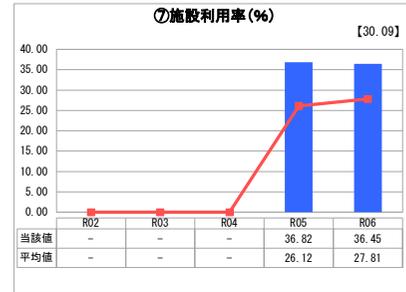
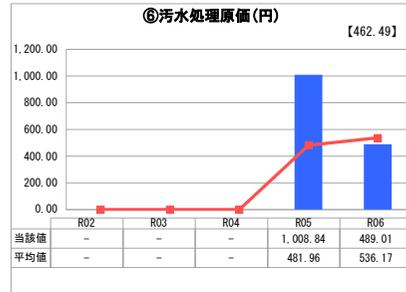
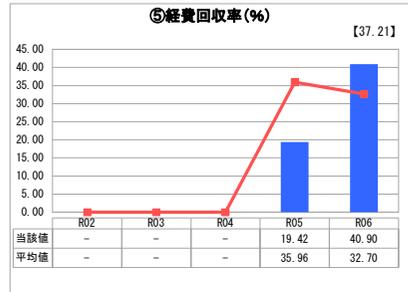
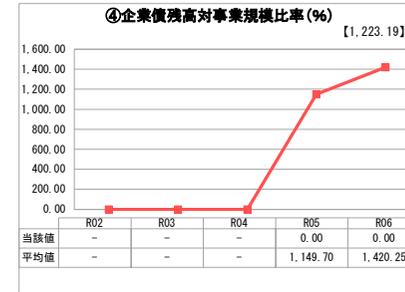
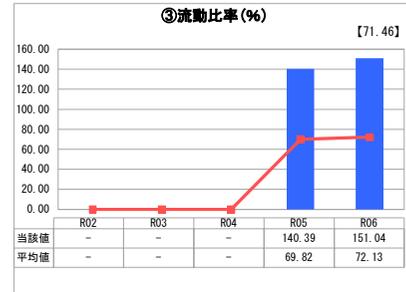
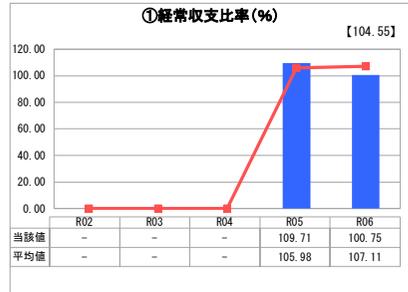
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	漁業集落排水	H2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家産料金 (円)
-	70.57	9.90	100.00	4,310

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
7,953	46.21	172.11
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
786	0.25	3,144.00

グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和5年度より法適用に移行し、経常収支比率は昨年度より8.66%の減で100.75%となった。類似団体平均値より6.36%、全国平均より3.80%下回っている。経費回収率は昨年度より21.48%の増で40.90%となった。類似団体平均値より8.20%全国平均より3.69%上回っている。収益について、使用料等で、維持管理費を賄えておらず、一般会計からの繰入金に依存している状況である。

今後は、少しでも経費回収率を上昇させるために、接続率の向上に努めながら、営業費用の維持管理費の抑制など一層のコスト削減により、経営の健全化を図りたい。

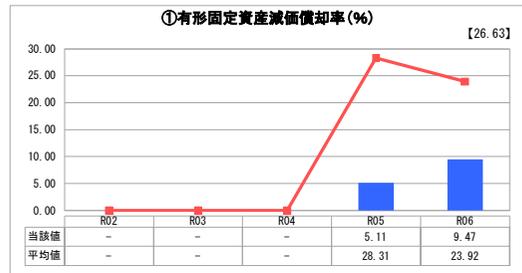
施設利用率及び水洗化率は、類似団体平均・全国平均より高い水準になっている。

水洗化率の向上を図るために、さらに、接続促進の普及・啓発活動を行い施設利用率の向上を図っていく。

2. 老朽化の状況について

供用開始から、20年以上経過している下水処理施設もあるが、管路等の施設はまだ老朽化に至っていないものの、施設の長寿命化を図るために機能診断調査および機能保全計画を基に、更新事業を実施した。しかしながら機能診断調査時において更新判定とならなかった施設及び中継ポンプ所のポンプ類の故障が多く発生しており、今後、維持管理費等の削減を図るために、更新時期を見据えた計画的な管理運営が必要である。処理区によっては、処理施設の縮小・最適化を検討していく。

2. 老朽化の状況



全体総括

安定した下水道経営の実現のために、歳入歳出の両面における経営の健全性及び経営の計画性・透明性の向上を図るため、令和5年度より法適用に移行。企業会計の財政面については、一般会計からの繰入に依存する現状から経営改善を図るために財政計画を見直し、経営戦略を策定する。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。